



はいばら やす あき  
**灰原泰明**さん (71歳)

富士町在住。郷土資料館ボランティアグループ『SLG』発足時からのメンバー。  
平成6年1月からは同グループの代表として、郷土資料館を拠点に体験学習や、市や地域イベントへの協力などに尽力している。

## 郷土資料館・文化伝承館は、ボランティアと自らの生涯学習の拠点です

『SLG』は、現在、会員数18人。各種体験学習の指導・協力をを行う『体験ボランティア』と資料館の資料分析と解説書の作成、観覧者への説明を行う『学芸ボランティア』に分かれて活動しています。

活動を始めてから、今年で10年目。発足時からのメンバーの平均年齢は、

70歳を超えましたが、みなさんいきいきとしていますよ。それも、ボランティア活動のおかげでしょう。

体験学習や小学校への出前授業などを通して、市民のみなさんと接し、自分たちも楽しく学んでいます。

目を輝かせて工作に取り組む子どもたちの姿に接したり、「教えてくれて、

## 市民ボランティアの活動が事業推進の原動力

登別市では、『市民と共に進めるまちづくり』を基本に、市民参加によるまちづくりを進めています。

これからのまちづくりを担うボランティア団体・指導者の育成は、郷土資料の収集・展示や学習機会の提供とともに、郷土資料館と文化伝承館の大切な役割の一つです。

現在、館の運営や事業推進の原動力として活躍しているのは、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』(SLGとは、スタディ・ライフ・グループ、学んで 生きる 仲間たち)の呼称)です。

『SLG』は、館が開催する体験学習の趣旨に賛同されたみなさんにより、平成5年9月に発足。以後、今日まで館を拠点にして、体験学習や、市や地域イベントへの協力、環境整備などに



体験学習で活躍するSLGのメンバー

進んで協力されています。

郷土資料館体験学習では、事業の立案から道具の手配のほか、講師としても活躍。

また、館内の資料の収集・整理・研究を行う一方で、地域の団体などが来館したときには、ガイド役も担当しています。

こうした市民ボランティアと行政が一体となった事業運営は、館の特色の一つになっています。

ありがとうございますと言われたりすると、胸が熱くなりますね。

みなさん定年退職されると、張り合いをなくしてしまう方が多いのではないのでしょうか。

私は、『SLG』の活動を通じて、素晴らしい仲間たちに出会い、ともに学ぶ喜びと生きがいを感じています。定年を迎えてからでも、まだまだ学ぶことができ、地域のために役立つことができる実感しています。

これからも、自らの生涯学習の場として館を拠点に市民のみなさんに喜んでいただけるよう、みんなで力を合わせて活動していきたいですね。

ありがとうございますと言われたりすると、胸が熱くなりますね。

みなさん定年退職されると、張り合いをなくしてしまう方が多いのではないのでしょうか。

私は、『SLG』の活動を通じて、素晴らしい仲間たちに出会い、ともに学ぶ喜びと生きがいを感じています。定年を迎えてからでも、まだまだ学ぶことができる実感しています。

これからも、自らの生涯学習の場として館を拠点に市民のみなさんに喜んでいただけるよう、みんなで力を合わせて活動していきたいですね。

## 入館案内

### 開館時間

- ・ 4月～10月……………10時～17時
  - ・ 11月～3月……………10時～16時
- 休館日
- ・ 月曜日(ただし、月曜日が国民の祝日にあたる場合は、その翌日)
  - ・ 国民の祝日の翌日
  - ・ 年末年始(6日間)

### 入館料

- ・ 個人
    - 高校生以上 190円
    - 小・中学生 60円
  - ・ 団体(20人以上)
    - 高校生以上 1人つき150円
    - 小・中学生 1人つき50円
- 体に障害をもつ方やその付き添いの方などは、無料です。

### 問い合わせ

**郷土資料館・文化伝承館**  
(片倉町6丁目27・2 ☎881339)

